

毒物ダイオキシンを 全量撤去せよ！

成田クリーン
パーク問題

「調査報告届いていない」と虚偽回答



成田クリーンパーク（一般廃棄物処分場）の空港用地への違法転用問題で、反対同盟が行った「外部コンサルタントの調査報告」の開示要求に対して、成田市は「調査報告はまだ届いていない」と回答しました。しかしこれは真っ赤なウソ。事実は9月に報告が出されているのです。

理由ははっきりしています。調査報告には重大な地下水汚染のデータが含まれていたからです。10月27日付けの毎日新聞は、「覆土で転用の可能性高まる」と報じました。2009年度とされる暫定滑走路の北延伸の開業に間に合わせるため、反対同盟が要求する「ゴミの全量撤去」を拒否し、ダイオキシンを含んだゴミを違法に埋め立てようとしているのです。

厚さわずか1・5ミリのゴムシート

クリーンパークの地下水脈は空港北部一帯を通じて利根川に至っています。クリーンパークの底に敷かれているシートは厚さわずか1・5ミリのゴム製。ダイオキシン規制法前のもので、数年で漏れ出します。クリーンパーク周辺の天神峰、東峰、十余三、小泉、そして久住地区、旧下総町などの地区住民の健康と命が将来にわたって危険にさらされるのです。市は調査報告を市民に開示すべきです。そして有毒物の「全量撤去」を約束すべきです。

【クリーンパーク問題】

暫定滑走路の北延伸にともなって、滑走路北端にある成田クリーンパークが空港保安用地として必要になった。しかし、法律どおりの手続きをとれば4、5年以上かかるためNAAと成田市はダイオキシンを含む有毒なゴミをそのまま埋めて、違法に転用しようとしている。反対同盟は全量撤去を求めて6回の公開質問状を出している。

三里塚芝山連合空港反対同盟

（連絡先） 事務局長 北原鉦治 成田市三里塚 115

流れ出したらもう遅い、埋めたら元に戻せない！